

平成18年度(2006年度)広島市民表彰(市民賞)被表彰者名簿

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
<p>はらだ てるみ 原田 照美</p>	<p>広島市安佐南区</p>	<p>平成8年から、細坂町内会及び細坂町内会自主防災会の会長を務め、平成17年からは沼田町伴地区町内会連合会及び自主防災会連合会の会長として地域の防災対策に努めている。とりわけ、阪神・淡路大震災を契機に、「わがまち防災マップ」の作成にあたり、災害弱者対策として、老人世帯などの世帯を調査し、安全な避難経路を検証するなど、実態に即した独創的なマップの充実に尽力した。また、「生活避難場所運営マニュアル」を作成し、住民避難訓練を積極的に実施するなど、災害に対する警戒避難体制の整備に尽力している。</p>
<p>ななだい きんじょう いっくさ い 七代金城一國齋 (池田 昭人)</p>	<p>広島市中区</p>	<p>初代金城一國齋から200年近く「高盛絵」という一子相伝の漆芸では全国でも二番目に古い独特の漆工芸を守り続けている。平成3年に、同氏が七代目を襲名して以来、伝統的な技法に香川県漆研究所で学んだ漆の技法を取り入れた独自の作風を築いてきた。平成4年に日本伝統工芸展に初入選以来、数々の賞を受賞している。また、平成17年からは市立大学芸術学部非常勤講師を勤めるなど伝統工芸の継承と人材育成にも寄与している。</p>
<p>くろだ ひろき 黒田 博樹</p>	<p>広島市中区</p>	<p>平成9年にドラフト2位で広島カーブに入団後、平成13年から3年連続2ケタ勝利を飾ったほか、平成15年から4年連続開幕投手を務めるなど中心投手としてチームをけん引してきた。さらに、平成17年には最多勝、平成18年の今季はセリーグで17年ぶりの防御率1点台で最優秀防御率を獲得している。黒田選手の相手バッターに真正面から挑むその力強い姿は、広島カーブファンのみならず多くの市民に感動を与え続けている。</p>
<p>安佐南防犯組合 連合会  (代表者 大向 龍視)</p>	<p>広島市安佐南区</p>	<p>昭和56年4月に「広島北防犯組合連合会」を設立(今年5月に名称を「安佐南防犯組合連合会」に変更)し、以後26年にわたり安佐南区内の地域安全活動などを行っている。平成16年度から2年間、広島県と広島市の共同事業である「減らそう犯罪」住民・行政・警察協働モデル事業実施地区の指定を受け、事業の活動母体となる「『減らそう犯罪』安佐南まちづくり協議会」が設置され、同連合会はその中心的な役割を果たした。現在は、同協議会の活動を引き継ぎ、積極的な活動を行っている。</p>

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
江波地域安全推進委員会  ( 代表者 井町 重遠 )	広島市中区	<p>平成15年2月に広島市中区江波地区の保護司が中心となり、保護司、更生保護女性会員、町内会長等、地域住民約40人で設立され、少年の健全育成や非行防止を目的に、夜間見回りや地域見守り活動を実施している。設立当初から地区内の小中学生の下校の見守りや溜り場などの見回りを行っているほか、定期的な夜間見回り活動を通じ、コンビニ駐車場などにたむろしている少年に早期帰宅を促している。また、本年から地域の他団体が行っている子どもの見守りに協力し、小学生の登校時の見守りや朝の声かけ、交通安全指導を行っている。</p>
亀山南地区防犯パトロール隊  ( 代表者 山口 定義 )	広島市安佐北区	<p>平成17年3月5日設立。平成13年6月、亀山南自治連合会を中心に、地域の子どもは地域で守ることを目的として、毎月1日を児童や高齢者の見守り活動・挨拶運動街頭指導の日として活動を開始。平成17年3月、正式に「亀山南地区防犯パトロール隊」を結成し、青色回転灯車両による防犯パトロールや、PTA等と共同した街頭見守り活動などを継続して行い、地域の安全に貢献している。(同パトロール隊の活動は、平成17年5月、警察庁の地域安全安心モデル事業に選定されている。)</p>
広島環境サポーターネットワーク  ( 代表者 中村 弘治 )	広島市西区	<p>広島市環境サポーターとしての資質向上などを目的に設立。環境への市民の関心を高めるため、行政などが実施する数多くの環境保全事業に参画し、リサイクル工作など市民にわかりやすい手法で普及啓発活動に努めている。また、市が実施する広島地球ウォッチングクラブ環境学習会等のイベントに講師を派遣するなど、本市の事業実施に貢献するとともに、環境保全活動とその普及啓発活動にも寄与している。さらに、自主的な河川調査などによりデータの蓄積を行い、研究機関などへ積極的に情報発信も行っており、環境活動団体として高い評価を得ている。</p>
広島市立日浦中学校生徒会  ( 代表者 佐々木 春華 )	広島市安佐北区	<p>平成12年、夏休みに足の手術を受けた同校の1年生の生徒が、手術後、車椅子で初めて院内を散歩することができた感動から、アルミプルタブを集め、業者に買い取ってもらったお金で車椅子を購入し、車椅子を必要とする人に贈ろうと一人で活動を始めた。その後、活動はクラスの中に、さらに、学校全体へと広がり、平成14年4月からは生徒会としての活動となった。平成13年から今年まで52台の車椅子を国内外の病院や社会福祉施設等へ寄贈している。この活動は、アルミ缶の集積から、車椅子の贈呈まで全てを生徒会が行い、現在では「アルボラ」(アルミ缶回収ボランティアから名付けられた活動名称)を合言葉に、地域住民などの協力も得ながら活動を続けている。</p>

平成 17 年度(2005 年度)広島市民表彰 (市民賞) 被表彰者名簿

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
<p>さえき としこ 佐伯 敏子</p>	<p>広島市東区</p>	<p>昭和 30 年頃から 40 年以上にわたり、約 7 万人の遺骨が眠る原爆供養塔に毎日バスで 1 時間半かけて通い、清掃奉仕活動を続けた。          なお、現在は自宅療養中のため、直接的な清掃奉仕活動は休止しているが、佐伯氏の活動に共鳴した二人の市民に引き継がれている。          また、原爆供養塔、平和記念公園、公民館、自宅などで約 20 年にわたり被爆体験証言を行い、平和の尊さを次の世代に訴え続けている。</p>
<p>つばい すなお 坪井 直</p>	<p>広島市西区</p>	<p>自身の原爆症とたたかいながら、核兵器廃絶に向け、国の内外において積極的活動を展開し、被爆 60 周年の今年 5 月には、80 歳という高齢にも関わらず、核拡散防止条約再検討会議に合わせて訪米、ニューヨークで約 4 万人規模のパレードの先頭に立ち、核兵器廃絶を全世界に向けて強くアピールした。</p>
<p>しょうの なおみ 庄野 直美</p>	<p>廿日市市阿品</p>	<p>原爆投下後の廃墟となった広島での体験を原点に、原爆被害の研究と平和活動に取り組み、原爆症や被爆建物の調査を進め、「人類共存を実現しよう」ほか多数の著作を発表し、反核・平和運動の理論的支柱となっている。          また、被爆関係出版物の監修などを通じて、本市の事業にも大きく貢献した。このほか、昭和 60 年、被爆 40 周年を機にヒロシマ・ナガサキ平和基金を設立し、被爆 60 周年の今年まで、20 年にわたり市民の平和運動の助成を続けた。</p>
<p>よころ けんじろう 横路 謙次郎</p>	<p>広島市南区</p>	<p>50 余年にわたり放射線発癌研究に取り組み、我が国の実験発癌研究の中心的役割を果たし、被爆者医療の向上に大きく貢献した。          また、被爆 60 周年の今年、広島で I P P N W (核戦争防止国際医師会議) 北アジア地域会議を開催するなど、I P P N W での核兵器廃絶運動の取り組みを通じて、世界平和に貢献した。</p>

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
そら 空 たつお 辰男	広島市南区	<p>長年にわたり被爆教職員の援護に携わり、その支えとなるとともに、平和を教育者の視点から研究し、数多くの著書を通じて平和教育の推進に力を注いでいる。</p> <p>また、被爆した路面電車に乗りながら小中学生に被爆体験を語るなど、特色ある活動を続けている。</p> <p>平成 16 年からは石田前会長の後を受け、広島県原爆被爆者教職員の会会長に就任、反戦をアピールするなど、会の先頭に立って積極的に平和運動を展開している。</p>
のむら けんじろう 野村 謙二郎	広島市中区	<p>昭和 63 年にドラフト 1 位で広島カープに入団後、広島カープ一筋に活躍、選手生命を脅かすほどの度重なる負傷を乗り越え、中心選手としてチームをけん引し、プロ入り 17 年目の今年 6 月、球団史上 3 人目、プロ野球史上通算 33 人目となる 2000 本安打を達成し、市民に大きな感動と希望を与えた。</p>
平和のための ヒロシマ通訳者グループ (代表者 小倉 桂子)	広島市中区	<p>外国語を世界平和に貢献するための手段と位置付け、海外からの来広者への被爆体験の通訳、平和記念公園等のガイド、各種講演会での通訳のほか、CD 付英語ガイドブックを廉価で製作・出版するなど、被爆体験と平和への願いを海外の人々に伝える活動を幅広く行っている。</p> <p>また、平和記念式典における外国人の案内や「国際交流・協力の日」への協力など、本市の事業推進にも積極的に貢献している。</p>
ももくさ会 (広島市公立保育園 退職園長の会) (代表者 田部 春子)	広島市安芸区	<p>広島市公立保育園長の退職者が、保育園での経験等を活かして子育て支援に貢献しようと平成 7 年に設立、活動開始後の 10 年間で 650 回、延べ 6,560 人もの親の相談に応じ、子供の育て方がわからず精神的に不安定になり、児童虐待につながるようなケースに対しても、長年培ってきた経験を活かしてメンタル面のケアを行うなど、他の育児サークル等ではできない活動を展開している。</p>

平成 16 年度(2004 年度)広島市民表彰 (市民賞) 被表彰者名簿

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
<p>うね としえ 宇根 利枝</p>	<p>広島市南区</p>	<p>昭和 30 年(1955 年)に市内の原爆死没者の慰霊碑に献水を始め(当初は 5~6 箇所)、以来、長年にわたり約 120 箇所の慰霊碑への献水を続け、被爆者の慰霊と被爆体験の継承に努めた。 今年、宇根氏の活動に共鳴した若者に活動を引き継いでいる。</p>
<p>しま しげのぶ 嶋 重宣</p>	<p>広島市中区</p>	<p>度重なる負傷を乗り越え、今シーズンの開幕直後から首位打者に立つなど猛打を続け、シーズンを通してチームをけん引し、そして、プロ入り 10 年目にして、平成 16 年(2004 年)のセ・リーグの首位打者、最多安打のタイトルを獲得した。その活躍により多くの市民は元気づけられた。</p>
<p>あいの友 (代表者 渡辺 真澄)</p>	<p>広島市佐伯区</p>	<p>平成 2 年(1990 年)に視覚障害者(弱視者)のための拡大写本の製作活動を始め、これまでに教科書など約 600 冊の拡大写本を提供してきた。 ボランティア製作の拡大写本は、弱視児童・生徒にとって欠かすことのできないものであるが、点字を利用する視覚障害者に比べ、弱視の視覚障害者への支援は一般的に知られておらず、拡大写本を製作するボランティア団体は、県内で唯一である。</p>
<p>ひろしま おもちゃ病院 (代表者 大島 誠二)</p>	<p>広島市安佐南区</p>	<p>ものの大切さを知ってもらうことを目的に、昭和 53 年(1978 年)に祇園公民館(安佐南区)でおもちゃの無料修理のための病院を開設し、公的施設や地域のイベントで出張診療をするとともに、現在では亀山公民館(安佐北区)、五日市公民館(佐伯区)にも病院を開設している。</p>

平成15年度(2003年度)広島市民表彰(市民賞)被表彰者名簿

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
<p>やがわ みつのり 矢川 光則</p>	<p>広島市安佐南区</p>	<p>ピアノ調律師という専門性を生かし、廃棄されるピアノを再生し、福祉施設や学校に寄贈する社会奉仕活動を続け、これまでに98台を寄贈している。</p>
<p>たのしい工作室 インストラクター の会  〔代表 百々 昇〕</p>	<p>広島市中区</p>	<p>こども文化科学館の「たのしい工作室」のボランティアのインストラクターグループとして、主に幼児から小学生低学年の児童及びその親を対象に、紙や木などの身近な材料やリサイクル品などを使った工作の指導を年間約60回行っている。「たのしい工作室」は、「親子の創作する楽しみの場」として多くの参加者から好評を博している。 「たのしい工作室」の運営は、工作の内容や材料の準備などを含めてインストラクターが自主的に行っており、会員相互の研鑽と協力により、事業推進に積極的な役割を果たしている。</p>
<p>広島市都心部環境 浄化対策協議会  〔代表幹事 下井 良昭〕</p>	<p>広島市中区</p>	<p>本通りやアリスガーデンなどで集会を行う暴走族に対し、帰宅を促す「声かけ運動」に組織的に取り組んでいる。 その結果、暴走族のい集・集会が激減するなど市民生活の安全確保に大きな役割を果たしている。</p>
<p>広島ジュニア マリンバアンサンブル  〔代表 浅田三恵子〕</p>	<p>広島市西区</p>	<p>小学生から高校生を中心とするグループで、学校、福祉施設、児童館、公民館などでのボランティアコンサートを年間70回以上開催するなど、活発な社会奉仕活動を行っており、収益があるときは、ユニセフを通じて寄付を行っている。 また、「ヒロシマ国際平和文化活動推進団体」として、カーネギーホールでの「日米音楽親善ユニセフチャリティコンサート」やフランス平和自治体協会の招待によるフランス8都市での平和コンサートに出演するなど、マリンバ演奏を通じてヒロシマの心を世界に発信していく活動を展開し、市政の推進に積極的な協力を行っている。</p>

平成14年度(2002年度)広島市民表彰(市民賞)被表彰者名簿

氏名又は団体名	住所 (所在地)	行為・活動の概要
<p>いのうえ 井上 わこ</p>	<p>広島市中区</p>	<p>昭和57年に交通事故により失明するが、逆境を乗り越え、62年に歌手デビューを果たす。 昭和63年に盲導犬普及活動に取り組み、平成14年までに盲導犬15頭及び盲導犬育成犬舎1棟を寄贈し続けるとともに、老人ホームや障害者施設の慰問などの訪問活動は300回を超え、持参した手編みのマフラーも15,000本に及んでいる。盲導犬寄贈目標20頭に向けて熱心に活動している。</p>
<p>おきた たかし 沖田 孝司</p>	<p>広島市安佐 北区</p>	<p>平成7年(1995年)にマイ・ハート弦楽四重奏団を結成し、広島県内全86市町村巡回を目標に「マイ・ハート・コンサート」を開催する傍ら、小・中学校、高校、成人式、公民館での「トーク&amp;コンサート」は300回を超え、原爆養護ホーム、病院等で年間10数回に及ぶボランティアコンサートを開催している。 コンサートでの収益金は、NPO広島骨髄バンク等に寄付している。</p>
<p>はせがわ りょうへい 長谷川 良平</p>	<p>広島市中区</p>	<p>昭和25年に広島カープにテスト入団して以来、広島カープ創生期の主力選手として14シーズンにわたり活躍し、通算197勝をあげ、監督も努めるなど、戦後の復興期に広島市民の希望をつなぐ大きな力となった。平成13年(2001年)には野球殿堂入りした。</p>
<p>ラッピー友の会 HIROSHIMA  ( 会長 岡田 ミドリ )</p>	<p>岡山県</p>	<p>「広島国際アニメーションフェスティバル」の公式ボランティアとして、大会運営に参画し、市民レベルで大会を盛り上げ、広島の文化意識の向上に努めることを目的とし設立された団体で、「もりあげボランティア活動」や「もてなしボランティア活動」「本大会支援ボランティア活動」など、市民の立場で様々な支援活動を行っている。</p>